

財政健全化指標の改善へ

—平成 29 年度 泉大津市 決算特集—

平成 29 年度 決算の概要

平成 29 年度の一般会計における最終予算現額は 303 億 6,652 万円で、この予算に対する決算額は、歳入が 292 億 9,430 万円、歳出が 287 億 6,650 万円で、差し引き 5 億 2,780 万円となりました。このうち翌年度へ繰り越すべき財源 8,596 万円を差し引いた実質収支の額は 4 億 4,184 万円となり、14 年連続の黒字決算となりました。

■ 平成 29 年度決算の概要

会計名	決算額		形式収支額 (A) (歳入－歳出)	繰り越すべき 財源 (B)	実質収支額 (A－B)
	歳入	歳出			
一般会計	292 億 9,430 万円	287 億 6,650 万円	5 億 2,780 万円	8,596 万円	4 億 4,184 万円

※端数処理の関係上、歳入・歳出および形式収支額などの計が一致しないことがあります。

◎一般会計 歳入の概要

①市税…歳入の根幹である市税は、市たばこ税で 2,893 万円の減となったものの、法人市民税で業況好調の影響により 1 億 8,539 万円の増、軽自動車税は 858 万円の増となり、全体で前年度比 1.5%増の 115 億 8,454 万円となりました。

②税外収入…繰入金は、都市施設整備基金繰入金が 6,700 万円の減、地域環境基金繰入金が 4,073 万円の減などにより 1 億 413 万円の減となったものの、財産収入で、河原町市営住宅の余剰地の土地売却収入などがあつたことから 4 億 107 万円の増、使用料及び手数料で、自転車等駐車場の使用料で 2,316 万円の増、寄附金はふるさと納税の効果により 1,457 万円の増、繰越金は、前年度純剰余金が 2,529 万円の増などがあり、全体で前年度比 18.3%増の 24 億 1,940 万円となりました。

③国庫支出金…臨時福祉給付金にかかる事業費補助金が 1 億 7,658 万円の増、障がい者総合支援負担金 9,244 万円の増などがあつた一方で、年金生活者等支援臨時福祉給付金の補助金が 2 億 2,845 万円の減、小学校整備事業費交付金 8,148 万円の減、参議院議員通常選挙委託金の 2,558 万円の減などにより、前年度比 1.2%減の 51 億 3,255 万円となりました。

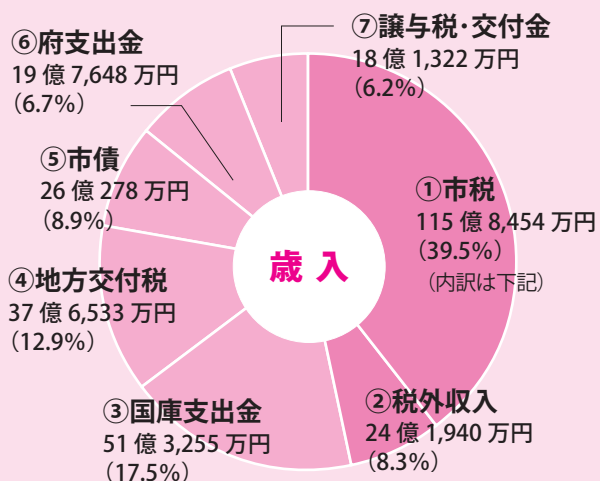
④地方交付税…地方財源の均衡化を図るため、国税の一定割合などが地方公共団体に交付されるもので、前年度比 1.3%増の 37 億 6,533 万円となりました。

⑤市債 (借入金) …小学校整備事業債で 5 億 4,250 万円の減となったものの、新消防庁舎建設に伴う事業債で 4 億 1,860 万円の増、認定こども園整備事業債で 3 億 3,280 万円の増などにより、前年度比 8.4%増の 26 億 278 万円となりました。また、借換債を除いた実質的な決算額は前年度比 8%増の 23 億 7,138 万円となりました。

⑥府支出金…障がい者総合支援負担金は 3,953 万円の増、安心子ども基金特別対策事業費補助金は 3,377 万円の増などがあつた一方で、連続立体交差事業費委託金で 3 億 382 万円の減、宝くじ社会貢献広報市町村補助金は 3,000 万円の減などにより、前年度比 11.6%減の 19 億 7,648 万円となりました。

⑦譲与税・交付金…地方消費税交付金は 293 万円増の 13 億 4,145 万円となり、そのうち社会保障財源にあたる 5 億 9,375 万円を障がい福祉サービス給付などの社会保障施策の財源として活用しました。全体では、前年度比 4.2%増の 18 億 1,322 万円となりました。

歳入 | 292 億 9,430 万円



…自主財源 (内容は下記)

地方自治体の権限で収入できる財源

…依存財源

国や府の意思決定に基づき交付される財源

()…予算に占める割合

「①市税」の内訳

個人市民税	37 億 928 万円
法人市民税	9 億 9,451 万円
固定資産税	52 億 891 万円
軽自動車税	1 億 1,191 万円
市たばこ税	5 億 8,327 万円
都市計画税	9 億 7,666 万円

「②税外収入」の内容

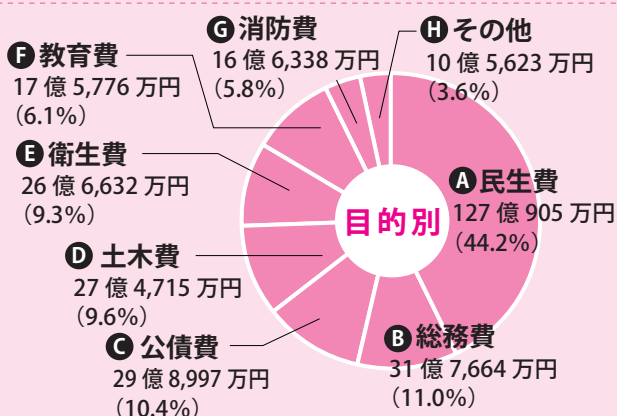
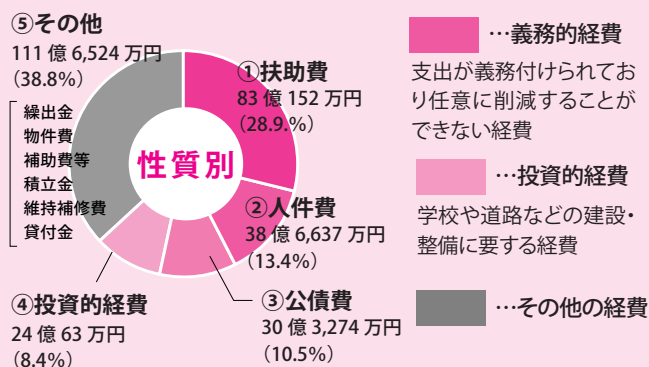
諸収入、使用料および手数料、繰越金、分担金及び負担金、財産収入、繰入金、寄附金

市民 1 人あたりの市税負担額

(平成 29 年度末時点での住民登録人口により算出)

15 万 4,364 円

歳出 287億6,650万円



目的別歳出を「市民1人あたり」に置き換えると…

- A 民生費 (高齢者や児童の福祉に) 16万9,348円
- B 総務費 (窓口業務、税金徴収に) 4万2,329円
- C 公債費 (借入金の返済に) 3万9,841円
- D 土木費 (道路・河川・公園整備に) 3万6,606円
- E 衛生費 (ごみ処理や病気予防に) 3万5,529円
- F 教育費 (学校、公民館、生涯学習に) 2万3,422円
- G 消防費 (消防活動、防災活動に) 2万2,165円
- H その他 (議会、商工、農林水産に) 1万4,074円

市民1人あたりの歳出総額
(平成29年度末時点での住民登録人口により算出) **38万3,313円**

歳出の決算は、経費の経済的な性質に着目した「性質別分類」と行政目的に着目した「目的別分類」に分類することができます。性質別分類では平成29年度の概要を、目的別分類では、市民1人あたりの歳出額をお知らせします。

◎ 一般会計 歳出の概要

【義務的経費】

① 扶助費…障がい者総合支援給付事業で1億4,673万円の増、特定教育・保育施設施設型給付事業で5,035万円の増などがあり、前年度比1.1%増の83億152万円となりました。

② 人件費…職員給は人事院勧告による増額の給与と改定があり、2,662万円の増となったものの、退職手当で4,902万円の減などとなったことから、前年度比1.4%減の38億6,637万円となりました。

③ 公債費…市債の返済に要する経費で、前年度比1.1%減の30億3,274万円、借換えに伴う支出額を除いた実質的な決算額は、前年度比2.1%減の28億134万円となりました。

【投資的経費】

④ 投資的経費…消防庁舎施設整備事業で6億1,584万円の増、認定こども園施設整備事業で3億3,923万円の増となったものの、旭小学校増改築事業で7億4,515万円の減、体育館施設整備事業で3億843万円の減、自転車等駐車場整備事業で9,900万円の減などにより、前年度比13.4%減の24億63万円となりました。

【その他の経費】

⑤ その他…積立金では、土地売却収入により、公共施設整備基金積立事業で3億4,710万円の増となりました。繰出金では、下水道事業特別会計繰出金で1億3,555万円の減などがあり、前年度比1.6%減の42億7,603万円となりました。補助費等では、泉北環境整備施設組合負担金事業の清掃分で3,257万円の減などにより、前年度比0.6%減の22億4,370万円、その他の経費全体では、前年度比7.1%増の111億6,524万円となりました。

■ 特別会計と企業会計の決算状況

会計名	決算額		形式収支額 (歳入－歳出) (A)	翌年度へ 繰り越すべき 財源 (B)	実質収支額 (A－B)
	歳入	歳出			
特別会計	209億185万円	208億1,145万円	9,040万円	0万円	9,040万円
土地取得事業特別会計	9億413万円	9億413万円	0万円	0万円	0万円
国民健康保険事業特別会計	97億8,354万円	97億5,583万円	2,771万円	0万円	2,771万円
介護保険事業特別会計	50億74万円	48億7,864万円	1億2,210万円	0万円	1億2,210万円
後期高齢者医療特別会計	8億5,030万円	8億2,283万円	2,747万円	0万円	2,747万円
駐車場事業特別会計	1億9,372万円	2億9,486万円	▲1億114万円	0万円	▲1億114万円
下水道事業特別会計	41億6,942万円	41億5,516万円	1,426万円	0万円	1,426万円

会計名	流動資産 (A)	流動負債 (B)	資金過不足額 (A－B)
企業会計	30億4,956万円	24億8,544万円	5億6,412万円
病院事業会計	9億4,351万円	23億5,637万円	▲14億1,286万円
水道事業会計	22億1,492万円	4億2,470万円	17億9,022万円

※端数処理の関係上、歳入・歳出および形式収支額などの計が一致しないことがあります。

平成 29 年度の一般会計決算を、家計簿におきかえてみると…？

おづみんの家計簿



ここでは、泉大津市の平成 29 年度の一般会計決算を、「おづみんの家計簿」に置き換えています。イメージがつきやすいように、5,000 分の 1 に縮小してみました。家計簿なので、単純に比べられないところもあります。あくまでも参考としてご覧ください。

歳入 おづみんの「収入」 () 内は前年度比

収入の内容	収入額	
会社からの給料	232 万円	(+4 万円)
実家からの援助	254 万円	(-4 万円)
銀行などからの借入金	52 万円	(+4 万円)
その他の収入	48 万円	(+7 万円)
パート・家賃収入	11 万円	(+1 万円)
不動産収入	27 万円	(+8 万円)
前年度からの繰越	7 万円	(±0 万円)
貯金の取り崩し	3 万円	(-2 万円)
1 年間の収入合計	586 万円	(+11 万円)

歳出 おづみんの「支出」 () 内は前年度比

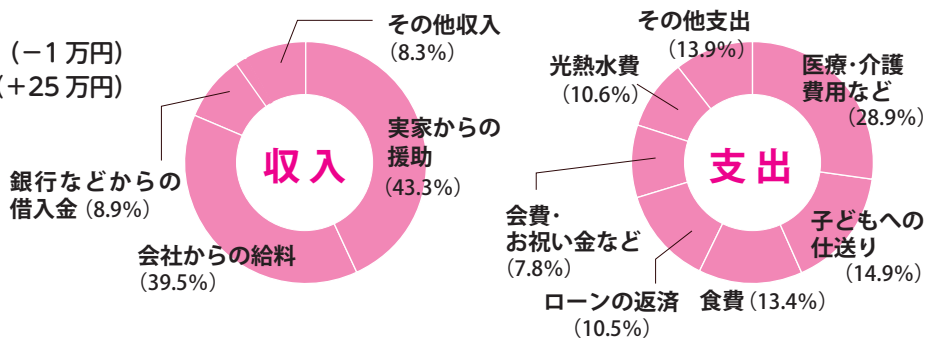
支出の内容	支出額	
食費	77 万円	(-1 万円)
医療・介護費用など	166 万円	(+2 万円)
子どもへの仕送り	86 万円	(-1 万円)
ローン返済	61 万円	(±0 万円)
会費・お祝い金など	45 万円	(±0 万円)
光熱水費	61 万円	(+3 万円)
その他の支出	79 万円	(+4 万円)
家の増改築・修理代・貯金など	79 万円	(+4 万円)
1 年間の支出合計	575 万円	(+7 万円)

おづみんのローンと貯金 () 内は前年度比

おづみん家	家計の残高	
ローン	562 万円	(-1 万円)
貯金 (現金)	89 万円	(+25 万円)



■ 平成 29 年度 おづみんの家計決算の円グラフ

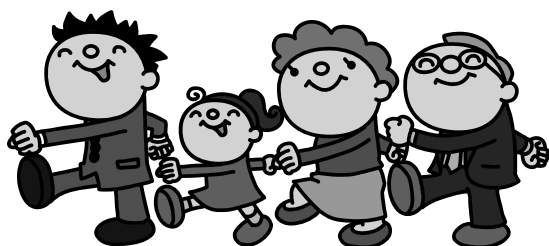


借入金と財産の状況

(平成 30 年 6 月 30 日時点)

■ 市の借入金 (市債・企業債) 現在高

会計名	現在高
一般会計	280億9,209 万円
土地取得事業特別会計	21億2,814 万円
下水道事業特別会計	240億2,918 万円
水道事業会計	33億3,627 万円
病院事業会計	45億7,942 万円
合計	621億6,510 万円



■ 市の財産現在高

区分	現在高
有価証券	2,350 万円
泉大津市財政調整基金	15億8,142 万円
泉大津市都市施設整備基金	4億8,174 万円
泉大津市福祉基金	2,239 万円
交流とふれあいのまちづくり基金	2億5,737 万円
泉大津市減債基金	2億9,946 万円
深喜人材育成基金	1億3,487 万円
泉大津市公園墓地基金	4,235 万円
泉大津市介護給付費準備基金	2億1,503 万円
基 辻川穂太郎やすらぎ基金	8,916 万円
金 泉大津市がんばろう基金	3,626 万円
佐野幸子基金	2,040 万円
泉大津市地域環境基金	1億1,077 万円
八木稔すこやか基金	6,631 万円
泉大津市環境整備資金貸付基金	6,180 万円
泉大津市市営住宅整備基金	3億5,968 万円
テクスピア大阪産業振興整備基金	2億8,718 万円
泉大津市セーフコミュニティ基金	5,855 万円
泉大津市ふるさと応援基金	2億3,141 万円
泉大津市下水道基金	1億6,780 万円
泉大津市公共施設整備基金	3億5,947 万円
小計	48億8,342 万円
合計	49億 692 万円

平成 29 年度決算における健全化判断比率と 資金不足比率（暫定値）を公表します。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、平成 29 年度決算において算定した健全化判断比率（4 指標）および資金不足比率を暫定値として公表します。4 指標のうち、実質赤字比率、連結実質赤字比率は収支が黒字であったため、該当はありません。実質公債費比率は、前年度の 16.5%から 2.8 ポイント改善し 13.7%となりました。将来負担比率は、前年度の 118.4%から 26.6 ポイント改善し 91.8%となりました。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律による、健全化判断比率（4 指標）はいずれも早期健全化基準以下であり、着実に改善が図られているところですが、依然として厳しい財政状況に変わりありません。今後も効率的で効果的な財政運営に努めてまいります。

■ 健全化判断比率：4 指標

指標名	概要	泉大津市		国の基準			
		比率		早期健全化基準		財政再生基準	
		29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度
実質赤字比率	標準財政規模に対する一般会計等の赤字の割合	—	—	12.67%以上	12.67%以上	20.00%以上	20.00%以上
連結実質赤字比率	標準財政規模に対する全会計の赤字の割合	—	—	17.67%以上	17.67%以上	30.00%以上	30.00%以上
実質公債費比率	1年間の収入に対する借入金返済の負担を3か年の平均で示した割合	13.7%	16.5%	25.0%以上	25.0%以上	35.0%以上	35.0%以上
将来負担比率	標準財政規模に対する将来本市が支払う借入金返済の割合	91.8%	118.4%	350.0%以上	350.0%以上		

※黒字である場合には「—」の表示となります。

■ 資金不足比率

指標名	事業名	概要	泉大津市		国の基準
			29年度	28年度	経営健全化基準
資金不足比率	水道事業会計	公営企業の事業規模に対する資金不足の割合。この割合が高い場合、経営状況が悪いことを指します。	—	—	20.0%以上
	病院事業会計		8.6%	—	
	下水道事業特別会計		—	—	

※不足額がない場合には「—」の表示となります。

平成 29 年度に実施した主な事業

泉大津市では、さまざまな事業を実施しています。そのなかで、平成29年度に実施した事業をいくつかご紹介します！！

1. 元気な泉大津をつくるために、さまざまな取り組みを実施！【89万円】

市民サービスの維持・向上に資する調査・研究や、他自治体で実施されている先進事例の調査・研究を行い、業務改革の推進や市民会館等跡地活用基本計画策定などに向けた進捗に寄与しました。



ココフレア

2. 窓口業務の委託化を進めています！【1,513万円】

平成 29 年 10 月より住民票交付などの定型的な業務の外部委託を実施し、業務の効率化による待ち時間の短縮、市民サービスの向上を行いました！

3. 泉大津駅高架下に健康福祉プラザ“ココフレア”開設！【1,943万円】

泉大津駅高架下に、家庭や地域の子育て力の向上支援を目的に、民間事業者を活用した新しい施設が平成 29 年 4 月にオープンしました。



プロジェクターで授業

4. ICT 機器を活用した学習指導の推進！【1,763万円】

小学校 4 年から 6 年、中学校全学年の全普通教室にプロジェクターを設置し、小中学校における確かな学力の育成を図ります！



←読書手帳を使って、読書に励む子どもたち

5. 読書量日本一のまちづくりを目指しています！【87万円】

読書により語彙力を高め、自ら考え表現できる力を養うことを目的に、読書手帳事業として、市立図書館で読書手帳を作成し、市内の小中学生に配布を行いました。

6. 新消防庁舎完成！【9億585万円】

整備を進めてきました新消防庁舎が平成 30 年 3 月末に竣工、4 月より稼働し、消防力の強化を図っています！



新消防庁舎→